

平成 28 年度事業ならびに活動計画

特定非営利活動法人 安全工学会

1. 事業活動方針

産業に係わる安全の諸問題を広く工学的に調査・研究し、各種災害の防止のための知識・技術の向上及び普及を図るため、特に、安全及び安全教育にかかわる議論を活発に行い、これらの普及、及び安全工学会の普及活動に注力する。

平成 29 年の 60 周年に向けて記念行事の企画検討を行う。

「保安力向上センター」は保安力評価システムを普及させる為、評価システムの充実、センターによる第三者評価の推進、改善支援の実施、保安力向上に関わる技術者の養成、保安情報の提供・共有化等に注力する。

安全工学の関連団体である公益財団法人総合安全工学研究所、特定非営利活動法人災害情報センターと共に保安力向上センターを含めた安全工学グループの立ち上げを進める。

維持・賛助会員の安全に資する活動を強化する。

2. 事業内容 特定非営利活動に係る事業

2.1 安全工学に関する研究・教育事業

(1) 安全工学に関する研究

学術委員会を中心に「安全」及び「安全教育」に関し検討を進め、普及活動に注力する。 又、研究会活動の活性化に努力する。

(2) 安全工学研究発表会

安全工学研究成果の発表会を主催する。

開催月日：平成 28 年 12 月 1～2 日

開催場所：国立研究開発法人 産業技術総合研究所共用講堂

参加予定者： 200 名

(3) 研究・教育事業管理

対象委員会・研究会

学術委員会	3-4 回
安全工学研究発表実行委員会	2 回
医療安全研究会	6 回
廃棄物安全研究会	2 回
次世代安全研究会	4 回
プロセスケミストリー標準モデル WG	4 回
新規研究会の立ち上げ	

2.2 安全工学に関する普及啓発事業

2.2.1 一般普及事業

(1) 会誌“安全工学”

① 発行 印刷物の発行 年 6 回

② 電子化推進

J-stage による電子情報の公開 2016 年 4 月発行分～
既発行分の J-stage 公開の推進

(2) 講習会・セミナー

① 第 38 回安全工学セミナー

物質危険性講座 平成 28 年 9 月

危険現象講座 平成 28 年 10 月

プラント安全講座 平成 28 年 11 月

安全マネジメント講座 平成 29 年 1 月

実施予定場所 化学会館会議室又は砂防会館会議室

参加募集人員 各回 30 人

② 安全工学地域セミナー

開催月日 平成 28 年 4 月 19 日実施済み

実施場所 三菱化学（株）四日市事業所

参加人員 22 人

③ 第 30 回安全管理の最新動向講習会

開催月日 平成 28 年 6 月 6 日（月）～7 日（火）

実施予定場所 化学会館

参加募集人員 30 人

④ 第 15 回安全工学実験講座

開催月日 1 回 平成 28 年 6 月 2 日（木）～3 日（金）

実施予定場所 日本カーリット（株）

参加募集人員 20 人

⑤ 災害事例研究会

開催月日 1 回、半日/回、平成 28 年 7 月開催予定

実施予定場所 化学会館

参加募集人員 30 人

⑥ 安全教育セミナー

昨年行った安全教育担当向けセミナーの継続開催の推進

⑦ 地域・企業支援セミナー

日本全国の地域・企業への講師の派遣 4 件

(3) 工場長懇談会の定期的開催

石化協との共催による地域毎での工場長・環境安全部長との懇
談会推進

(4) 書籍(改訂)発行

① 新安全工学便覧の改訂

昨年改訂検討に着手した新安全工学便覧について平成 29 年春
改訂版発行を目指して改訂作業を進める。

(5) 図書販売・会誌の年間購読販売

法人事務所にて図書販売等を実施する。

(6) 普及啓発事業管理

- ・対象委員会・研究会等

編集委員会 12回

普及委員会 4回

新安全工学便覧編集委員会 適宜

- ・会誌への広告募集管理

2.2.2 普及啓発事業：保安力向上センター

(1) 保安力評価システムの普及

昨年構築した保安力評価システム Ver2.0 への「移行システム」を含めて、「評価結果の統計処理システム」の構築、充実を図る。

又、「センターの第三者評価」の推進の為、評価員の養成・拡充、評価マニュアルの充実など評価体制の強化を図る。又、良好事例などを参考に改善支援を図る。

(2) 保安に関わる技術者の養成

会員各社の保安力評価推進委員や自己評価を行う担当者の力量向上のための支援活動を推進する。

(3) 保安情報の共有化

センター評価の解析結果、センター評価等を通して収集した良好事例を会員に提供し、保安力向上の取り組みを支援する。

(4) 法人化の推進検討

非営利事業であることを明確にして、独立運営を行うため法人化の検討を進める。

2.2.3 普及啓発事業：受託事業

経済産業省の新規事業に注目し、受託事業管理委員会管理下、対応可否を吟味する。

2.3 安全工学に関する調査及び情報収集提供事業

ホームページを充実させ、会員への情報提供を推進する他、意見交換システムの検討を行う。又、非会員へのPRを推進する。

2.4 安全工学研究の奨励及び研究活動等の表彰

学会賞授与 安全工学に貢献した優秀論文、功労者を表彰する。

以下の賞を含め、賞の内容について見直しを行う。

対象：安全工学論文賞（1-2件）、玉置功労賞（1-2名）、北川学術賞（1-2名）、奨励賞（1-2名）

2.5 安全工学に関連する国内外の団体との連携及び協力

(1) 安全工学グループの立ち上げ推進

安全工学関連団体である公益財団法人総合安全工学研究所、特定非営利活動法人災害情報センターと共に保安力向上センター

を含めた安全工学グループの立ち上げ、相互協力をすすめる。

(2) 学協会との連携

(一社) 日本工学会、高圧ガス保安協会、防災学術連携体など安全工学に関連する学協会に加入し、情報を得ると共に安全工学の発展のために協業を模索する。

・安全工学シンポジウム 2016 (第 46 回)

開催月日：平成 28 年 7 月 7 日 (木)、8 日 (金)

開催場所：日本学術会議

主 催：日本学術会議

幹事学会：人間工学会

共 催：安全工学会ほか 32 学協会

(3) 国際的連携

APASES (Asia Pacific Association of Safety Engineering Societies, アジア太平洋安全工学学協会連合) に参加、APSS2017 の開催準備を開始する。又、CCPS との連携による CCPS グローバルサミットの 2017 年日本開催に向け検討を進める、

2.6 管理業務

(1) 総 会 1 回開催

開催月日：平成 28 年 5 月 19 日 (木)

開催場所：化学会館

(2) 理事会 5 回開催

開催月日：平成 28 年 5 月 10 日 (火)

平成 28 年 5 月 19 日 (木)

平成 28 年 7 月

平成 28 年 11 月

平成 29 年 3 月

(3) 評議員会 1 回開催

開催月日：平成 28 年 5 月 19 日 (木)

(4) 監事会 1 回開催

開催月日：平成 28 年 5 月 9 日 (月)

(5) 委員会

総務委員会 4 回開催

企画委員会 4 回開催

アドバイザーボード 2 回開催

(6) 現場研修会 2 回開催

開催日：平成 28 年 9 月予定、平成 29 年 3 月予定

見学先：未定

参加予定人員：安全工学会の会員 各回 20～30 名

以上